

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 事業所の多機能化という観点からすると、日々の支援においては共用デイ利用者への対応も含めて比較的安定した運営はなされているが、施設内に留まっている感拭えない。 新オレンジプランに掲げているように、共用型デイサービスの取り組みにより、グループホーム利用者定員に留まることなく外に(地域に)目を向け、在宅生活者の下に出向いて、地域におけるグループホームの新たな役割を見出し取り組むことにより、事業所の多機能化を果たさなければならない。	グループホームと共用デイの安全運営を軸とし、更に地域に目を向け在宅生活継続の支援に繋がるグループホーム運営をめざし、事業所の多機能化を図る。	①担当CMからの情報・ケアプランに基づく支援に加えて、デイ利用者本人からの思いの聞き取りの機会を設けてニーズを探り支援に繋げる。	1-3ヶ月
				②モニタリング実施しながら、デイ利用者を含めた安全運営ができる様にする。	1-3ヶ月
				③利用者の特性や他者との相性を見極め、個々に応じた支援を行う。	1-3ヶ月
				④上記②より問題点を抽出し、運営改善を行う。	2-5ヶ月
				⑤デイ利用者及び、グループホーム利用者の発言、表情暮らしぶりに変化が見られるようになったかを検証する。	4-6ヶ月
				⑥ご家族については、送迎時・電話等にてお話を窺がいニーズを探り、更なる支援に繋げる	3-10ヶ月
1	28			①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進として一般の方向けの認知症サポーターキャラバン研修を行う。	0-12ヶ月
				②他の事業所(訪問系)の職員向け認知症研修のお手伝いをする。	0-12ヶ月
				③認知症カフェ等のニーズを探り開催を目指す。	4-12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。